

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立介護予防総合センター						
指定管理者	セントラルスポーツ株式会社						
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	—	利用料金制の採用	—	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	9	9	0	62	11	51	3	74
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	2	2	2	1	10			

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
利用者数（人）	29,276	42,932	53,722	61,212	65,772	
個人登録者数（人）	1,594	1,675	1,738	1,939	2,030	
団体登録者数（団体）	26	31	35	35	41	

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
経費実績	収入	203,462,287	203,326,502	208,288,492	209,798,259	212,178,516	
	指定管理料（清算後）	203,462,287	203,326,502	208,288,492	209,798,259	212,178,516	
	利用料金収入	0	0	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	0	0	
	支出	202,930,946	201,699,008	206,035,125	209,265,097	211,253,188	
	職員人件費	121,542,615	121,151,497	122,755,359	125,246,664	129,481,910	
	光熱水費	0	0	0	0	0	
	修繕費	66,905	71,390	912,285	825,000	98,010	
	事業運営費	48,631,626	47,349,293	49,196,315	50,504,733	48,983,268	
	施設管理経費	239,800	676,828	721,166	238,700	240,000	
	その他経費	32,450,000	32,450,000	32,450,000	32,450,000	32,450,000	
	差引収支額	531,341	1,627,494	2,253,367	533,162	925,328	
	年度協定書で定める指定管理料	204,297,444	207,160,668	212,543,353	214,100,795	214,928,962	

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						85 / 95

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和6年度は、「つながるから輪を拡げる」をテーマとし、令和5年度につながった人、組織等とのつながりをより大きな輪に拡げていき、介護予防の推進を図りました。具体的には、ICTを活用した介護予防に関する情報を介護予防リーダー・サポーター及び各関係機関、民生委員、町内会、老人会等に発信し、連携する機会をより増やし、本施設はもちろん、本施設以外で高齢者が自らの生活に合わせて介護予防に取り組めるよう、様々な事業を推進しました。 更にICTを活用した介護予防事業「自宅でオンラインエクササイズ」の事前及び事後評価のデジタル化を図ることで、ラクっちゃんに来館出来ない人も気軽に介護予防に取り組んでいただけるよう介護予防の充実を図りました。 令和6年度の施設利用者総数は、令和5年度比107%の65,772人となり過去最高を記録しました。また、令和6年度新規登録者数(324人)、個人登録者数(令和7年3月末で2,030人)においても、過去最高を更新し、着実に介護予防の普及・啓発を進められていると実感しております。 地域の介護予防活動の支援では、体操マスターの活動支援において、「みんなといきいき体操」の普及拡大のため、体操マスターの活動支援を強化したことで、派遣件数において25件(令和5年は14件)の実績を残すことができました。 自主活動グループの立上げ支援では、積極的に支援を行うことで、新たに6グループが誕生し、自主活動グループが計41団体となりました。 介護予防の普及・啓発においては、昨年同様各地区の民生委員児童委員協議会に出席させていただき、介護予防事業の紹介や、その効果についての情報提供を行うことができました。 介護予防事業の効果・分析においては、PDCAサイクルに沿った年間を通じた取組として、介護予防事業の事前事後評価を基に得た分析結果及び、事業参加者を対象に実施した意識調査の結果を推進ミーティングで各関係機関にフィードバックし、各事業における課題解決について協議を行いました。また、区民に対しては、介護予防の認知・周知を目的として、区で実施している介護予防事業の効果を記したチラシを50,000部作成し、区全域へ約45,000部のチラシを折り込みました。 個人情報保護・情報セキュリティに関しては、職員間の個人情報の取扱いに關しての意識に差が見られることから、再度区民の個人情報を取り扱っている管理責任についての重さと、その取り扱いについて、弊社の個人情報保護研修・情報セキュリティ研修(e-ラーニングにて)の受講を徹底させ、全職員の意識の向上を図ってまいります。
区(施設所管課)による評価	サービスの向上については、公募時の提案事業が全て実施されていなかったこと、提案事業以外の事業を積極的に提案・実施されていなかったため、更なる取組の推進が必要と評価しました。令和7年度から新たな指定管理期間となり、積極的にサービスを提案・実施するよう指導してまいります。 施設の維持管理については、設備機器の管理・点検が適切に行われていて、故障や修理が必要な場合も遅滞なく対応していました。 地域との連携も強化し、介護予防事業の普及や支援を行うことができました。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価	A
--------------------	---

【総合評価について(項番5における区による評価合計点の得点率)】 S:施設の管理運営は特に優れていた (90%以上) A:施設の管理運営は優れていた (80%以上90%未満) B:施設の管理運営は適切に行われていた (60%以上80%未満) C:施設の管理運営に改善が必要であった (60%未満)	
---	--